

●地域の活動へ参加する事例●



【利用者及び家族の生活に対する意向】

今まで通りこの家で生活していきたい。近所や知り合いとの関りも続けていきたい。

総合的な援助の方針

内服の服用を忘れてしまうことがあるため、訪問サービスで毎日一緒に確認し飲み忘れを防ぎましょう。歩行時にふらつくことが多く、福祉用具の利用や外出時は付き添いにて転倒を防いでいきましょう。家事もこれまで行ってきたことが継続できるよう訪問で支援いたします。

時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00		通所			通所		
12:00	訪問	通所	訪問	訪問	通所	訪問	訪問
15:00	訪問：内服、家事支援、外出準備、安否確認						
18:00							

【1か月の概算費用】※1割負担の場合

要介護3：22283円
各加算：6217円

食事：昼食代550円
週2回通い利用
550×8＝6600円
28500+6600＝35100円

【利用者基本情報】

年齢：90
性別：女性
要介護度：要介護3
家族構成：独居

【利用者医療情報】

疾患：脳血管性認知症、交通外傷脳腫瘍、高血圧
処方薬：朝と夕に内服あり

【現在の状態】

通所、訪問を組み合わせたサービスの提供を実施。

【利用の経緯】

脳梗塞にて入院。退院時、歩行状態にふらつき強く認知面でも進行があり、ほとんど家事を自分で行うことができず独居は難しいと思われたが、本人の「自宅に帰りたい」という思いから、入所ではなく小規模多機能を利用し在宅生活を送ることとなる。配食サービス、福祉用具貸与を利用。入浴はコミニケアで提供。内服薬は毎日訪問サービスで確認声掛け実施。

【地域行事への参加】

お元気なころ、身体障害者福祉協議会の大会へ参加し体を動かすことや参加者との交流を楽しんでいた。しばらく入院していたことで参加できなかったが、退院後担当者がチラシを持ってきてくださり「またこれ出たいな。行ってこようかな」と訪問職員へ話していた。ケアマネは体力や認知面を考慮し1人で1日外行事の参加は難しいと思っていたが、本人と話した際に「そうやね、体はもう若くないし。歳とるとできなくなることばかりで悲しくなるね」と笑っていた姿が印象的で、本当に参加が難しいのかを再度介護士と検討。どのような参加状況をモニタリングするため1度職員が同行してみようとまとめ身体障害者福祉協議会へ相談し了承を得た。結果、水分の声掛けや移動時に介助することで大会に参加することができ、他者との交流も図ることができ、何より本人の自信につながった。以降、関係者と連携しながら参加への支援を続けている。

【小規模多機能型居宅介護を利用しての感想】

毎日訪問に来てもらって、私もだいぶ自分でできるようになってきたと思います。次の更新ではコミニケアさん卒業できるといいなと思っています。
退院した時は忘れるし歩いてもフラフラだったけど、今はだいぶしっかり歩いていると思います。知り合いや近所のお世話になっている人、趣味の人との交流が楽しいので続けていけると嬉しいです。